

20096

当院のDCAの急性期成績

<sup>1</sup>星総合病院

橋本 将太<sup>1</sup>、添田 信之<sup>1</sup>、菊地 康昭<sup>1</sup>、佐藤 有香<sup>1</sup>

【目的】当院のATHEROCUTの成績を明らかにする。【対象】2015年3月から2016年6月までにDCAを施行した22症例。【方法】患者背景及び、DCAカテサイズ、CUT数、拡張圧等および合併症を検討する。【結果】患者背景としては、n=22(男性18例:81.8%)。年齢は $63.1 \pm 10.6$ 歳(41~80歳)。病変枝は#1:1例(4.5%)、LMT:7例(31.8%)、#6jp:7例(31.8%)、#6:7例(31.8%)。手技はDCA+STENT 8例(36.4%)、DCA+薬剤コーテッドバルーン(以下DCB) 14例(63.6%)。DCAカテサイズはLサイズ18例(81.8%)、Mサイズ4例(18.2%)。CUT数は $24.5 \pm 15.3$ 回。拡張圧は $4.2 \pm 1.8$ atm。合併症は#6jpでオーバーカッティングによるPerforationが起きた1症例のみとなった。【QCA】PreRD: $3.5 \pm 0.57$ mm、PreMLD: $1.18 \pm 0.85$ mm、Pre%DS: $67.30 \pm 22.36$ 、PostRD: $3.68 \pm 0.56$ mm、PostMLD: $3.28 \pm 0.68$ mm、Post%DS: $11.04 \pm 11.86$ 、Acute gain: $2.1 \pm 0.79$ mm、Lesion Length: $11.75 \pm 4.76$ mmとなった。【QCU】PreVA: $18.48 \pm 6.95$ mm<sup>2</sup>、PreLA: $3.72 \pm 1.79$ mm<sup>2</sup>、PrePlaque Burden: $79.17 \pm 8.44$ %、DCA後VA: $19.63 \pm 5.67$ mm<sup>2</sup>、DCA後LA: $8.42 \pm 2.42$ mm<sup>2</sup>、DCA後Plaque Burden: $55.71 \pm 11.85$ %、PostVA: $20.09 \pm 5.38$ mm<sup>2</sup>、PostLA: $9.53 \pm 2.22$ mm<sup>2</sup>、PostPlaque Burden: $51.05 \pm 10.58$ %となった。【結語】重篤な合併症もなく結果は良好であった。【考察】安全なプラークの切除に加えDCBによる良好な成績が出ないかと考えている。今後は慢性期成績を含め検討していきたい。